

年 組 名前：



春光堂書店が作製した老舗和菓子店「松林軒豊嶋家」のブックカバー 甲府市中央1丁目

## 松林軒の包装紙 ブックカバーに

甲府市中央1丁目の春光堂で、春光堂の宮川大輔社長は、市内の老舗和菓子店「松林軒豊嶋家」の包装紙を上げていきたい」と話す。使ったブックカバーを作製 県内の書店が異業種の協力し、配布を始めた。市中心市街地にある老舗同士のタッグが広がっていることを受

## 甲府の書店作製 中心街盛り上げへ

け、企画した。松林軒は1832（天保3）年、春光堂は1918（大正7）年に、いずれも甲府中心街で創業。松林軒銀座通り店は春光堂から30ほどの近所であり、宮川社長が松林軒の鈴木伸吾社長（48）に呼びかけて実現した。松林軒から包装紙の提供を受け、文庫や単行本のサイズに合わせて裁断し、計約500冊分を用意した。包装紙は3年ほど前にリニューアルしたもので、白地に緑色で店名や松葉模様の店のロゴがデザインされている。鈴木社長は「包装紙をブックカバーに使うってもらい光栄」と話し、宮川社長は「遊び心がある取り組みで、互いの宣伝になればうれしい」と話す。今後、中心街の他の店舗にも呼びかけてブックカバーを展開する考えで、宮川社長は「老舗のブックカバーで中心街を盛り上げたい」と話している。（桑原久美子）

（2026年1月16日付 山梨日日新聞 15面）

問1 甲府市の春光堂書店は、何を使ったブックカバーを作製しましたか。

.....

問2 春光堂書店が、対象の店を選んだ理由を教えてください。

.....

問3 春光堂書店の宮川社長は、ブックカバーを配布することで、何を期待していますか。

.....

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2026 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.